

滋賀県長浜市  
庭園尊氏の爪墓が現存

滋賀県長浜市

安楽寺



安楽寺

尊氏御教書  
伝承の寺

兵庫県丹波市

石龕寺



滋賀県長浜市は、新幹線停車駅の米原市の北側に有り、滋賀県の北東部に位置し、湖北と言われる福井県境までの1市6町が合併した広域な市です。観光都市の一面を持ち、黒壁ガラス館、曳山まつり、冬の盆梅、竹生島など、数々の史跡、文化財が残っています。その中に足利氏とゆかりの深い安樂寺があります。安樂寺は細江町宇安樂坊にあり、参道を通り石橋を渡れば、老松の松並木が続き、広大な田園の中に、藤原時代の莊園の面影をとどめています。また、尊氏の帰依した天龍寺開山夢窓国師の作といわれる庭園は、東に伊吹山、西に遥か比良比叡山系を眺め、前方に数多くの老松を借景とする山水廻遊式鶴亀庭園です。また、尊氏の遺命により造られた尊

壁ガラス館、曳山まつり、冬の盆梅、竹生島など、数々の史跡、文化財が残っています。その中に足利氏とゆかりの深い安樂寺があります。安樂寺は細江町宇安樂坊にあり、参道を通り石橋を渡れば、老松の松並木が続き、広大な田園の中に、藤原時代の莊園の面影をとどめています。また、尊氏の帰依した天龍寺開山夢窓国師の作といわれる庭園は、東に伊吹山、西に遥か比良比叡山系を眺め、前方に数多くの老松を借景とする山水廻遊式鶴亀庭園です。また、尊氏の遺命により造られた尊

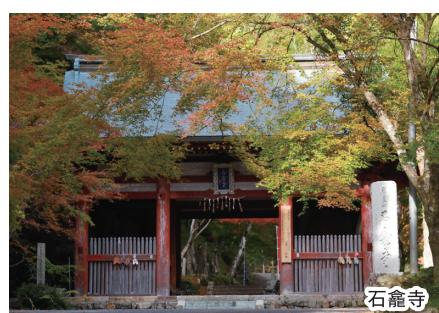
牌と共に展示してあります。

現在は、宝物館に尊氏公位

と文和3年（1354）の尊氏の御教書が寺に残っていて尊氏等との関係が深かつたことを物語っています。また、中世この地方の豪族であつた久下氏は尊氏が亀岡篠村で反北条の兵を挙げた時以来足利

氏と行動をともにしました。平成6年石龕寺では、尊氏が京都の東寺に寄進した梵鐘に模して梵鐘を新鋲、さらに東寺の鐘楼を参考に山上に鐘楼を造立、足利氏ゆかりの寺宝の後背部、山陽、山陰に通ずる交通の要衝にあたるところから、数多くの文化財や伝説が残っています。丹波市山南

の地域は尊氏のエピソードが数々残されている、尊氏ゆかりの地です。なかでも、特にゆかりの深いお寺が石龕寺で聖徳太子の開創と伝える古刹です。觀応2年（1351）弟の直義等との戦いに敗れた尊氏は子義詮に仁木兄弟等2千余騎を添え「丹波の井原石龕に留める」と太平記卷29にあります。



石龕寺